

グループ各社の取り組み

オブテックス株式会社での取り組み

オブテックスでは、環境に配慮した設計、センサーを導入頂くお客様にとって省資源化・省エネ化に繋がる製品開発に注力したモノづくりによる環境保全活動を推進しています。当社センサー単体の電力消費は非常に少ないものですが、システムに組み込むことにより、システム全体の温室効果ガス排出削減に大きく貢献することができます。オブテックスの製品やサービスを通して、持続可能な社会の実現を目指し、グローバルな視点で地球環境の保全に向けた取り組みを展開しています。

- 環境マネジメントシステムの推進を通じて、全役職員の環境意識の向上を図っています。
- 地球環境の保護を企業の社会的責任と認識し、環境関連の各種法令や規格などを遵守し、継続的な環境の改善、向上を推進しています。
- 企業活動のあらゆる分野において環境との調和に取り組みます。
また、リデュース（発生抑制）、リサイクル（資源の再生）およびリユース（製品や部品の再使用）を基本とし、企業活動全般を通じて、資源の有効活用、エネルギー効率の向上および産業廃棄物の削減に努めています。
- 新製品の設計段階において、独自の「環境アセスメント」を行っています。前機種よりもどれだけ省資源化、省エネが図れたかや、再生材料の使用有無など、環境に考慮した設計を進めています。
アセスメント実施により把握した改善ファクターの横展開など、活動の継続を通じた環境保全の意識向上も図っています。
- 当社の取り扱っているセンサは、人や物を検知した時のみ作動するもの、必要な時だけシステムを働かせるなど、もともと低消費電力でエコな製品です。
加えて、近年は、事業戦略に連動した「環境負荷抑制製品」を積極的に投入（LED化、機器のバッテリー駆動化など）し、お客様にとってのメリットも大きい「省エネ製品の提供」を行っています。
- RoHS指令で有害物質として使用制限されている「鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE」の6物質に加え、DEHP、BBP、DBP、DIBPの4物質が追加され、2019年7月までに抵触している部品は使用しないと定めています。
また、改正WEEE指令に則った電気・電子機器の廃棄についても対応しグリーン調達を実践しています。
- 2016年より、企画から廃棄までのライフサイクルを意識した取り組みとしています。
ハブ倉庫設置や輸送ルート見直しによる輸送効率改善の効果試算や、製品廃棄、船や飛行機などでのイレギュラー輸送によるロスを「Fコスト(*)）」と「CO2」両面で捉え、製品品質の改善とCO2排出量削減の同時実現を図っています。

*Fコスト＝Failure cost

調達

基本性能を左右する光学部品やセンサー類は独自仕様品が多く、技術面などでサプライヤーとの連携が欠かせません。技術動向などを話し合うミーティングやエンジニア同士が集まる技術交流会を実施するなど、製品性能や品質向上に向けて取り組んでいます。

また、製品・サービスのライフサイクル全般を通じて環境負荷を低減していくために、サプライヤーや製造委託先とともに取り組んでいます。

責任ある鉱物対応方針

コンゴ民主共和国およびその周辺国や高リスク地域（CAHRAs）で採掘される鉱物は、児童労働などの人権侵害や環境破壊のみならず、武装集団の資金源となり、紛争そのものの助長が懸念されています。当社はこれらの鉱物の調達によるリスクを低減し、より責任ある調達を行うべく、OECDデュー・ディリジェンス・ガイダンスなどに基づき、以下に示す取り組みを実施いたします。

- ・ **仕入れ先には当社の方針を説明し、サプライチェーンの調査を実施いたします。**
調査においてはRMI（Responsible Minerals Initiative）が提供するツールであるCMRT（Conflict Minerals Reporting Template）などの標準化されたテンプレートを用い、サプライチェーンの把握に努めます。
- ・ **RMIなど第三者機関が認証した製錬業者からの調達、また高リスクの疑いが生じた場合の仕入先変更・リスクの低い調達先への移行を、仕入先に推奨いたします。**
2023年度の調査の結果、当社のサプライチェーンにおいて特定された252社の製錬業者がRMIの標準製錬業者リストに該当し、その中でRMIの監査に合格しているConformant Smelterは87% 219社でした。

製品含有化学物質の管理

世界各地で化学物質の使用に関する規制が強化される中、当社は販売国や地域の法令・規格に適合した製品を提供するため、含有化学物質規定を定め、関連する各国の規制を明確にし、ROHS対象物質をはじめあらゆる懸念される化学物質を特定し、製品の設計段階から対象の部材や材料などの化学物質情報を入手し適切に管理しています。また、抵触する化学物質があれば、適宜判断し設計変更を行い対応しています。

さらに、オブテックス株式会社、オブテックス・エフエー株式会社、オブテックス・エムエフジー株式会社は共通で「含有化学物質管理ガイドライン」を作成し、当社に納入する部品・材料への含有禁止化学物質を定めウェブサイトで公開するとともに社内および仕入先への周知徹底を行っております。

事業をはじめてから法令違反はありません。当社は常に法令を遵守し、環境や生態系への影響を最小限に抑えるための取り組みを継続しています。

- [含有化学物質管理ガイドライン](#) 
- [別表1『使用制限物質 レベル1（禁止物質）』](#) 
- [別表2『使用制限物質 レベル2（管理物質） REACH規則由来の物質』](#) 
- [別表3『使用制限物質 レベル2（管理物質2） Proposition65由来の物質』](#) 

地域・国	規制・法
国際的な規制	・ POPs条約 ・ モントリオール議定書
日本	・ 化審法 ・ 労働安全衛生法
EU	・ ROHS指令 ・ REACH規則
アメリカ	・ TSCA ・ カリフォルニア州プロポジション

オブテックス・エフエー株式会社での取り組み

オブテックス・エフエー株式会社（以下当社と呼ぶ）は、地球環境の保全が全人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

方針

当社は、センサ及び同装置の販売にかかわる製品またはサービス全ての事業活動の環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

- 1.当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、
環境汚染の及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
- 2.当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連法規、その他の要求事項を順守します。
- 3.当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

①環境配慮製品の拡販

②製品に含まれる有害物質を削減

③製品の不良率の低減

④ペーパーレス推進
- 4.一人ひとりが環境負担低減活動を積極的に実践できるように、
この環境宣言を組織の全員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
- 5.京のアジェンダ21フォーラムのパートナーシップに基づく地域の環境改善活動に積極的に参画します。
上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

KES 環境マネジメントシステム・スタンダードとは

KESは「環境マネジメントシステム」の規格です。「環境マネジメントシステム」とは、企業等の経営に当たって環境への負荷を管理・低減するための仕組みです。環境マネジメントシステムには国際規格ISO14001がありますが、より分かりやすく取り組みやすい規格として誕生したのがKESです。



欧州RoHS指令への取り組みについて

当社では、地球環境の保全・向上に貢献することを第一とし、製品にRoHS規制物質を含む環境負荷物質の排除を進めております。

当社製品は欧州RoHS指令「2011/65/EU」に基づき分類される、カテゴリ9「産業用含む、監視及び制御機器」に該当し、同指令で規定される適用開始日以降に欧州に上市される場合は同指令に適合した製品であることが必要となっております。

また、2015年6月に欧州委員会委任指令「(EU)2015/863」が公示され、欧州RoHS指令「2011/65/EU」の特定有害物質（鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、PBB、PBDE）に、新たに4種のフタル酸エステル類が追加されました。CEマーキングを行っている全ての当社製品につきましては、欧州RoHS指令「2011/65/EU」及び、欧州委員会委任指令「(EU)2015/863」に適合した製品を出荷しております。

■ 欧州RoHS指令「2011/65/EU」

- 1) 対象の製品カテゴリ「付属書 I（ANNEX I）より」
- * 当社の製品は、カテゴリ9「産業用含む、監視および制御装置」に該当します。

カテゴリ(原文/和訳)	
1	Large household appliances./大型家庭用電気製品
2	Small household appliances./小型家庭用電気製品
3	IT and telecommunications equipment./情報技術(IT) および電気通信機器
4	Consumer equipment./民生用電子機器
5	Lighting equipment./照明機器
6	Electrical and electronic tools./電気電子工具
7	Toys,leisure and sports equipment./玩具、レジャーおよびスポーツ機器
8	Medical devices./医療用機器
9	Monitoring and control instruments including industrial monitoring and control instruments. /産業用含む、 監視および制御装置
10	Automatic dispensers./自動販売機
11	Other EEE not covered by any of the categories above. /上記のカテゴリに入らないその他の電気電子機器

2) 規制対象となる制限物質

物質名	最大許容濃度
1. 鉛	1000ppm
2. 水銀	1000ppm
3. カドミウム	100ppm
4. 六価クロム	1000ppm
5. PBB（ポリ臭化ビフェニル類）	1000ppm
6. PBDE（ポリ臭化ジフェニルエーテル類）	1000ppm

【規制対象となる制限物質の追加について】

欧州委員会委任指令「(EU)2015/863(2015年6月官報公示)」により、EU RoHS指令に以下の4種類の制限物質が規制対象に追加されました。

物質名	最大許容濃度	適用開始日	
		カテゴリ1～7,10,11	カテゴリ8～9
1.フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) (DEHP)	1000ppm	2019年7月22日	2021年7月22日
2.フタル酸ブチルベンジル(BBP)	1000ppm		
3.フタル酸ジブチル(DBP)	1000ppm		
4.フタル酸ジイソブチル(DIBP)	1000ppm		

オブテックス・エフエーの社会課題解決に向けた活動

製品含有化学物質管理により、環境負荷の大きいまたは人体に悪影響のある化学物質の含有低減を行っています。

●現状課題

製品含有中の有害化学物質が、製品ライフサイクルにおいて直接あるいは大気、水質および土壌汚染を介して、死亡及び疫病のリスクとなっている。

●目指す姿

製品中に含有される有害化学物質の低減により、上記危害(harm)低減を図る。

●具体的な取組み

- ・グリーン調達ガイドラインを定めサプライチェーンに対して方針を明確化する。
- ・サプライチェーンに対し供給物の含有化学物質の調査を行い、各国・地域で規制されている化学物質の含有を制限する。

顧客要求に応じて、責任ある鉱物調達調査を実施しています。

●現状課題

製品で使用されている鉱物調達において、重大な人権侵害を引き起こす内戦や紛争に関わる武装勢力の資金源や、児童労働などの人権問題へのリスクがサプライチェーンに含まれている可能性がある。

●目指す姿

サプライチェーンにおいて、重大な人権侵害を引き起こす内戦や紛争に関わる武装勢力の資金源や、児童労働などの人権問題を引き起こすリスクを排除する。

●具体的な取組み

顧客要求に応じてCMRT(Conflict Minerals Reporting Template)や、CRT(Cobalt Reporting Template)での調査を行う。

シーシーエス株式会社での取り組み

環境への取り組み

低消費電力によるCO2の大幅削減というLED照明のメリットを活かして、シーシーエスは地球環境にやさしい照明の開発・普及に努めています。

当社は、環境都市・京都から世界に向けて発信する企業として、環境への取り組みを経営の重要課題と捉えて、従来から取り組んでまいりました。

具体的には、環境側面に適用される法規・協定などの順守、事業活動における資源・エネルギーの削減と有効活用、当社製品の使用に伴う環境負荷の低減などを推進しております。

環境方針

シーシーエス株式会社は、「光を科学し、社会に貢献する」を基本理念に掲げる企業として、環境問題への取り組みは重要な課題であり、社会的責任であることを自覚します。

そして、地球環境保全を積極的に推進し、継続的に改善しながら、「環境にやさしい」企業としての理想的モデルを環境都市・京都から発信します。

環境影響への取り組み

採用頂く製品により、CO2削減及び、省エネに貢献できるよう商品開発力の向上と製造力の強化を図ります。

資源循環への取り組み

環境に配慮した製品設計を通して環境負荷低減に努めます。

法規制への取り組み

国内外の法規制及びその他の要求事項を順守します。

環境保護への取り組み

環境保護推進に向けた事業運営システムを構築し、その継続的な改善を行い、汚染の予防に努めます。

2016年10月27日
シーシーエス株式会社
代表取締役社長 大西 浩之

ミツテック株式会社での取り組み

品質方針

- モノづくりを通じて社会課題を解決し、快適な未来づくりに貢献します。
- 誠心誠意でお客様に向き合い、ご満足いただく事を目指します。
- 技術とヒトが育つ会社を作ります。
- 意思決定のスピードを上げて、改善サイクルを加速させます。
- 法令やルールを順守して、強固な経営基盤を作り出します。

環境理念

ミツテック株式会社は、地球環境への対応や循環型社会の構築の重要性を認識し、事業活動の推進にあたっては一企業市民として自らを律して行動し、社会から信頼と支持が得られる企業を目指します。

環境方針

ミツテック株式会社は、自動化設備の契約から設計・開発、購買、製造までのあらゆる事業活動において、以下の基本方針に基づき、継続的な環境改善を展開していきます。

- 脱炭素社会の実現に貢献する事業を大きく育てます。
- エネルギーや資源のムダをなくし、効率的な活用を進めます。
- 人がいきいきと暮らせる社会の実現を目指します。
- CSR活動を通じて、地域・社会に貢献します。

協力会社の皆様へ

弊社は地球環境保全活動をより効果的・効率的に行う目的のため、国際標準規格ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築しました。協力会社の皆様には、「環境方針」の主旨をご理解いただき、以下の「協力依頼事項」を貴社及び貴社協力会社のご担当者へのご指導及び周知にご協力いただけますようお願い申し上げます。

協力依頼事項

1. 材料調達等に関する事項

- ①環境への影響ができるだけ少ない製品の優先的採用をお願いします。
- ②工場搬入物流時には、その製品の品質等が保持できる範囲で、無梱包、リサイクル梱包、簡易梱包により、廃棄物等の発生を抑制できるようご協力をお願いします。
- ③工場搬入車両等は、軽油・ガソリンの消費及び排ガス・CO₂等の低減を図るため、駐車中は「アイドリングストップ」のご協力をお願いします。

2. 工場内での工事に関する事項

(1)建設機械、トラック、移動式クレーン等の排ガスの抑制と燃料の低減

- ①休憩中又はトラック・建設機械等の待機中はエンジンを停止願います。
- ②建設機械等は整備されたものを工場内に搬入し、異常な黒煙を発生しないようにしてください。
- ③構内制限速度(20km/h)を厳守し、不必要な運転や空ぶかしを避けて、丁寧な運転を行ってください。

(2)工事で発生する騒音及び振動の低減

- ①工場内に搬入する建設機械等（リース含む）は、低騒音型機器を選定し、優先的に使用するようにしてください。
- ②建設機械等は、整備不良による騒音・振動が発生しないように点検・整備を十分に行ってください。
- ③作業待ち時には、建設機械等のエンジンをできる限り止めるなど騒音・振動を発生させないようにしてください。
- ④不必要な高速運転や無駄な空ぶかしを避けて、丁寧な運転を行ってください。

(3)工事で発生する廃棄物の低減

- ①廃棄物となるものを極力工場内に持ち込まないようにしてください。
- ②搬入製品等は品質等が保持できる範囲で、無梱包、リサイクル梱包、簡易梱包により、廃棄物等の発生を抑制できるようご協力をお願いします。
- ③作業で発生した不要物（廃棄物）は、当工場監督者の指示に従って適正に分別収集をおこなってください。

EMS適用範囲

当社の社員、本社の敷地と建屋、自動化設備の契約から設計・開発、購買、製造までのあらゆる事業活動及びサービスに関連する環境保全活動に適用する。

ISO認証取得

ISO9001 品質マネジメント・システム

2002年以来、品質マネジメント・システムの国際規格であるISO9001の認証を取得しております。

- **規格(初回認証日)** ISO9001:2015/JIS Q 9001 : 2015(2002年6月14日)
- **登録審査機関** ビューローベリタスジャパン株式会社認証事業本部
- **認証範囲** 産業用自動化設備の開発・製造 ※名古屋営業所及びシステム事業部は認証サイト対象外です。

ISO14001 環境マネジメント・システム

2012年、環境マネジメント・システムの国際規格であるISO14001の認証を取得しております。

- **規格(初回認証日)** ISO14001 : 2015/JIS Q 14001 : 2015(2012年1月11日)
- **登録審査機関** ビューローベリタスジャパン株式会社認証事業本部
- **認証範囲** 産業用自動化設備の開発・製造 ※名古屋営業所及びシステム事業部は認証サイト対象外です。